

株式会社仁張工作所 環境経営レポート 2021

〒578-0921 大阪府東大阪市水走3丁目8番26号

期間：2020年12月21日～2021年12月20日



2022年3月31日発行

環境経営レポート目次

- 1. ご挨拶
 - 2. 会社概要
 - 2-1. 会社概要
 - 2-2. エコアクション対象範囲
 - 2-3. 経営理念・行動規範
 - ・ 品質方針
 - 3. 環境経営方針
 - 4. EA21推進組織
 - 5. 環境経営目標
 - 5-1. 環境経営目標及び中期目標
 - 5-2. 2021年度計画
 - 6. 2021年度達成状況
 - 6-1. 環境経営目標達成状況
 - 6-2. 結果と評価
 - 6-3. 総量実績推移
 - 7. マテリアルバランス
 - 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟の有無
 - 8-1. 法令遵守状況
 - 8-2. 違反・訴訟の有無
 - 8-3. 近隣よりの苦情の有無
 - 9. 2021年度の取組み
 - 9-1. 非常事態処理訓練
 - 10. その他の取組み
 - 10-1. 地域の清掃活動
 - 11. マネジメントレビュー
 - 11-1. 経営者による全体評価
 - 11-2. 次年度に向けて(アクション)
- あとがき

1. ご挨拶

当社は2000年に品質マネジメントシステムISO9002を認証取得し、環境マネジメントシステムについては、2003年度に環境省が実施したエコアクション21試行版によるパイロット企業として参画して以来、認証取得して19年目を迎えました。

現在は「品質活動と環境活動が重なり合った経営マネジメントシステム」として経営の有効なツールと認識し、生産活動を進めております。

国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と自らの環境経営との関連性を見だし、自社の事業活動と持続可能な社会づくりとのベクトル合わせができるように取り組みました。

ここに2021年度の環境経営活動の結果をまとめ、報告いたします。

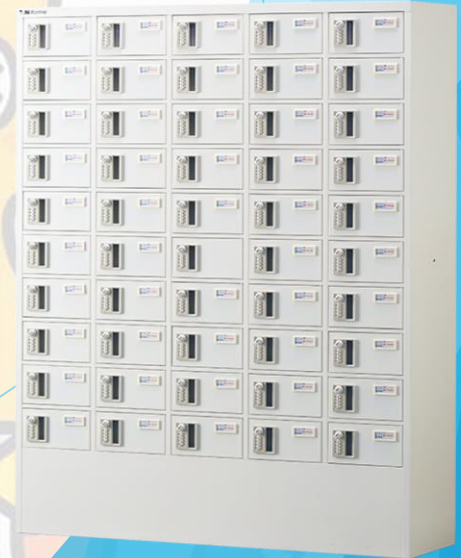
仁張 茂

2. 会社概要

2-1 会社概要

1964年10月1日、東海道新幹線が開通した記念すべき日に産声を上げた仁張工作所は 2021年10月1日に創業57年目を迎えました。創業以来、弊社は主としてスチールやステンレスの薄鋼板を加工して各種保管庫、キャビネット、デスクなどを設計・製作するほか、幅広い用途を持つ箱物板金製品・各種精密板金製品を提供してきました。

現在では多業種・多業界における一次サプライヤーとしての板金加工部品供給を筆頭にOEM製品やオーダーメイド、オリジナル製品など多様な製品を提供し続けています。ご興味のある方は下記HPもご覧ください。 URL <https://nimbari.co.jp/>



2. 会社概要

2-2 エコアクション対象範囲

事業所名 株式会社仁張工作所

URL <https://nimbari.co.jp/>

エコアクション21の対象範囲と所在地(2022年3月現在)

- | | | |
|--------------------------|-----------|-------------------|
| ◎ 本社工場 | 〒578-0921 | 大阪府東大阪市水走3丁目14番6号 |
| ◎ 仕上棟・仕上第二棟 | 〒578-0921 | 大阪府東大阪市水走3丁目8番26号 |
| ◎ 東大阪第二工場 (※2022年1月閉鎖予定) | 〒578-0921 | 大阪府東大阪市水走3丁目6番10号 |

環境経営活動担当者の連絡先

環境管理責任者 井上 慎一 事務局 総務経理部

連絡先 Tel : 072 - 962 - 2831 Fax : 072 - 963 - 4183

E-mail sakamoto@nimbari.co.jp

事業活動 (認証・登録範囲)

精密板金加工製品、別注スチール製家具・什器、箱物板金加工製品の製造
(「環境経営レポート2021」についての問合せは事務局までご連絡ください)

2. 会社概要

2-3 経営理念・行動規範・品質方針

経営理念

1. 私たちは板金加工を通じて、ものづくり、仕事づくり、ひとづくりに努力します
2. 私たちはお客様の満足を通じて仕事に誇りを持ち よりよい生活を実現し
働きがいのある会社づくりに努力します
3. 私たちは常に新しい板金加工技術について積極的に学び 自分たちのものとし
共有化することによって 技術レベルの高い信頼される会社を目指します

行動規範

1. 規律正しく行動し、仕事に対して誠実になろう
2. 決められた事を守り、妥協しないプロ集団になろう
3. 社員は仲間 相手の考えを受け止め、自分の考えを入れこみ“私たち”の考えをつくろう

品質方針

「品質に責任を持ち、顧客の信頼に応える」

3. 環境経営方針

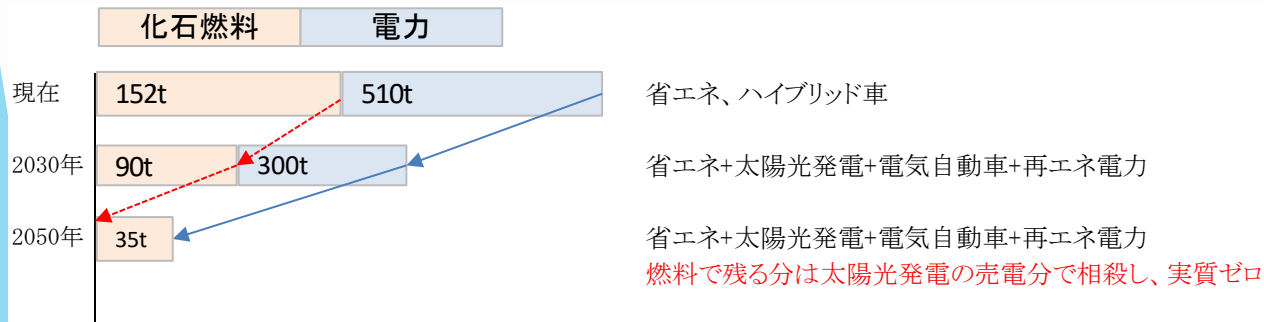


私たち株式会社仁張工作所は 経営理念に基づき 板金加工製品のモノづくり事業を遂行するにあたり 環境影響をとらえ 社員の育成と成長を通じて 自然資源を維持する ‘地球にやさしい’ 取組みを展開します

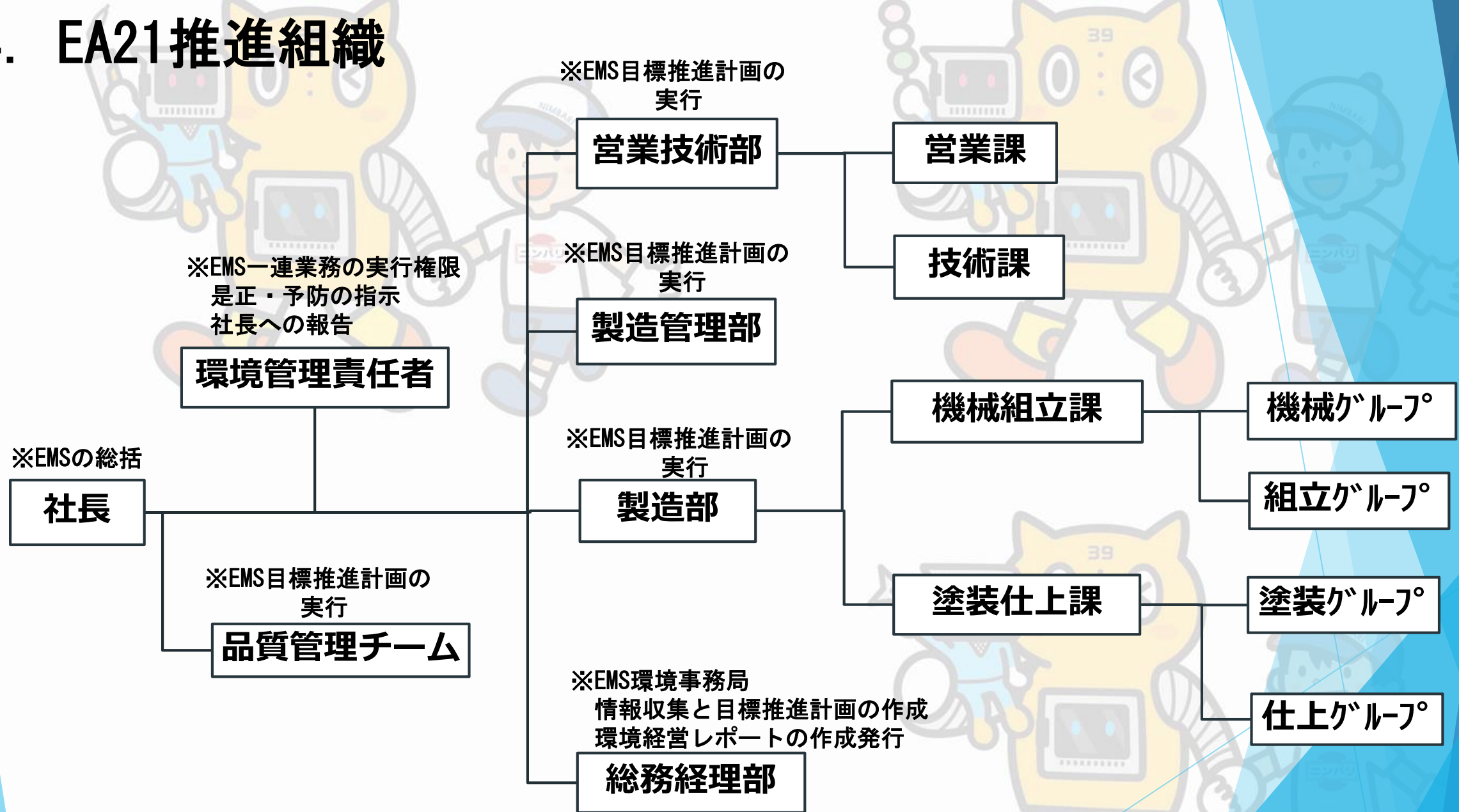
1. 現在及び将来の事業活動において 環境経営目標を定め 技術的 経済的に可能な範囲で継続的改善に努めます
2. 品質を良くすることは環境につながることを理解し 生産性向上によるエネルギーや資源の有効活用と共に 環境負荷の軽減に努めます
3. 適用される環境関連法規及び 当社が個別に同意した要求事項を遵守します
4. 環境経営方針を全社員に周知すると共に教育・啓蒙活動を通じて全社員に環境に関する意識の向上を図ります
また 当社の取引先・外部委託業者にも環境経営方針の理解と努力を求めます
5. 環境経営に対する取り組みは 地域社会や行政 社員などに情報を開示して 良好なコミュニケーションを維持します
6. これらを推進するため環境マネジメントシステム(EMS)を構築して 維持します

2020年12月21日 代表取締役 仁張茂

カーボンニュートラルに向けた取組



4. EA21推進組織



2021年12月組織図

5. 環境経営目標

5-2 2021年度計画



原単位は生産高100万円あたり

E-1. CO₂の削減

取組み内容	目 標 値	実行部署
1.作業・設備の見直しによる電力削減	原単位-3% 918kWh	全部課
2.品質不具合を削減し手直しや再製作のロスを防止する	クレーン件数60件以下 場内不具合100件以下	
3.塗装の作業改善、品質改善で社内生産でのLPG削減	LPG原単位-3% 12.9m ³	
4.クールビズ・ウォームビズを実施し冷暖房用燃料の削減	都市ガス原単位-3% 5.8m ³ 灯油原単位-3% 1.0ℓ	
5.物流の効率化で車燃料削減	車燃料原単位-3% 7.7ℓ	

E-2. リサイクルを含む産業廃棄物の削減

取組み内容	目標値	実行部署
1.塗装の品質及び生産改善により引火性廃油及び汚泥の排出削減	排出量原単位-3% 10.8 kg	塗装G
2.一般廃棄物の削減	排出量-3% 43,087kg	全部課

5. 環境経営目標

5-2 2021年度計画(続き)



E-3. 総排水量の削減

原単位は生産高100万円あたり

取組み内容	目標値	実行部署
2.給水設備点検を行い、水漏れを防止して一般水使用量削減	原単位1.86m ³	全部署

E-4.化学物質使用量の把握・削減

取組み内容	目標値	実行部署
1.化学物質使用量の把握(把握するのはPRTR制度対象物質)	未把握物質:0件 毎月使用量把握100%	総務
2.シナー購入量の削減 前処理ラインの利用でシナー拭きを減らす	購入量原単位-2% 8.4ℓ	塗装G
3.塗装の不具合要因を分析し、不良を削減	塗料不良率 1.2%以下	
4.粉体塗装適用製品を広げVOCを削減する	粉体塗料比率 22.4%以上	塗装G/技術

E-5.環境負荷の削減

取組み内容	目標値	実行部署
1.環境に配慮した製品設計・部材調達 RoHS,REACH対応等顧客要求に応える	100%対応	技術課
2.有害化学物質含有量の少ない部材調達ならびに供給者ネットワーク確立 顧客からのネットワーク上での調査依頼に対して、100%対応する	100%対応	総務

6. 2021年度達成状況

6-1 環境経営目標達成状況

原単位は生産高100万円あたり



番号	計画項目	監視項目	個別目標値	実績	差異	評価
E-1	1.作業・設備の見直し、工場内LEDの検討による電力削減	電力kWh (kg-CO ₂)	918kWh (347.9)	754kWh (285.7)	(-171)	
	2.塗装の作業改善、品質改善によるLPG削減	LPGm ³ (kg-CO ₂)	12.9m ³ (38.7)	13.1m ³ (39.2)	(+0.2)	
	3.クールビズ・ウォームビズを実施し冷暖房用燃料の削減	都市ガスm ³ 灯油ℓ (kg-CO ₂)	5.8m ³ (22.3) 1.0ℓ (2.4)	6.9m ³ (26.5) 0.7m ³ (1.6)	(+1.0) (-0.3)	
	4.物流の効率化で車燃料削減	ガソリンℓ (kg-CO ₂) 軽油 (kg-CO ₂)	2.3ℓ (5.3) 5.4ℓ (13.9)	2.0ℓ (4.5) 5.1ℓ (13.3)	(-0.3) (-0.3)	
		合計原単位 (kg-CO ₂)	945 (430.5)	782 (370.8)	-170.9 (59.7)	
E-2	1.塗装の品質及び生産性改善により引火性廃油及び汚泥の排出削減	原単位(kg)	10.8kg	10.2kg	-0.6	
	2.一般廃棄物の削減	原単位(Kg)	14.3kg	10.5kg	-3.8	

6 . 2021年度達成状況

6-1 環境経営目標達成状況(続き)



原単位は生産高100万円あたり

番号	計画項目	監視項目	個別目標値	実績	差異	評価
E-3	2.給水設備点検を行い、水漏れを防止して一般水使用量維持	原単位(m³)	1.86m³	2.5m³	+0.64	
E-4	1.化学物質使用量の把握 (把握するのはPRTR制度対象物質)	未把握件数 使用量把握率	0件 100%	0件 100%	0	
	2.シンナー購入量削減 前処理ラインの利用でシンナー拭きを減らす	原単位(kg)	8.4ℓ	7.7ℓ	-0.7	
	3.塗装不具合要因を分析し、不良を削減	不良率(%)	1.2%以下	1.4%	+0.2	
	4.粉体塗装適用製品を広げVOCを削減する	使用率(%)	22.4%以上	27.2%	-4.8	
E-5	1.環境に配慮した製品設計・部材調達 RoHS,REACH対応等顧客要求に応える	顧客対応率	100%	100%	0	
	2.有害化学物質含有量の少ない部材調達、 供給者ネットワーク確立 顧客からの調査依頼に応える	調査対応率	100%	100%	0	

6. 2021年度達成状況

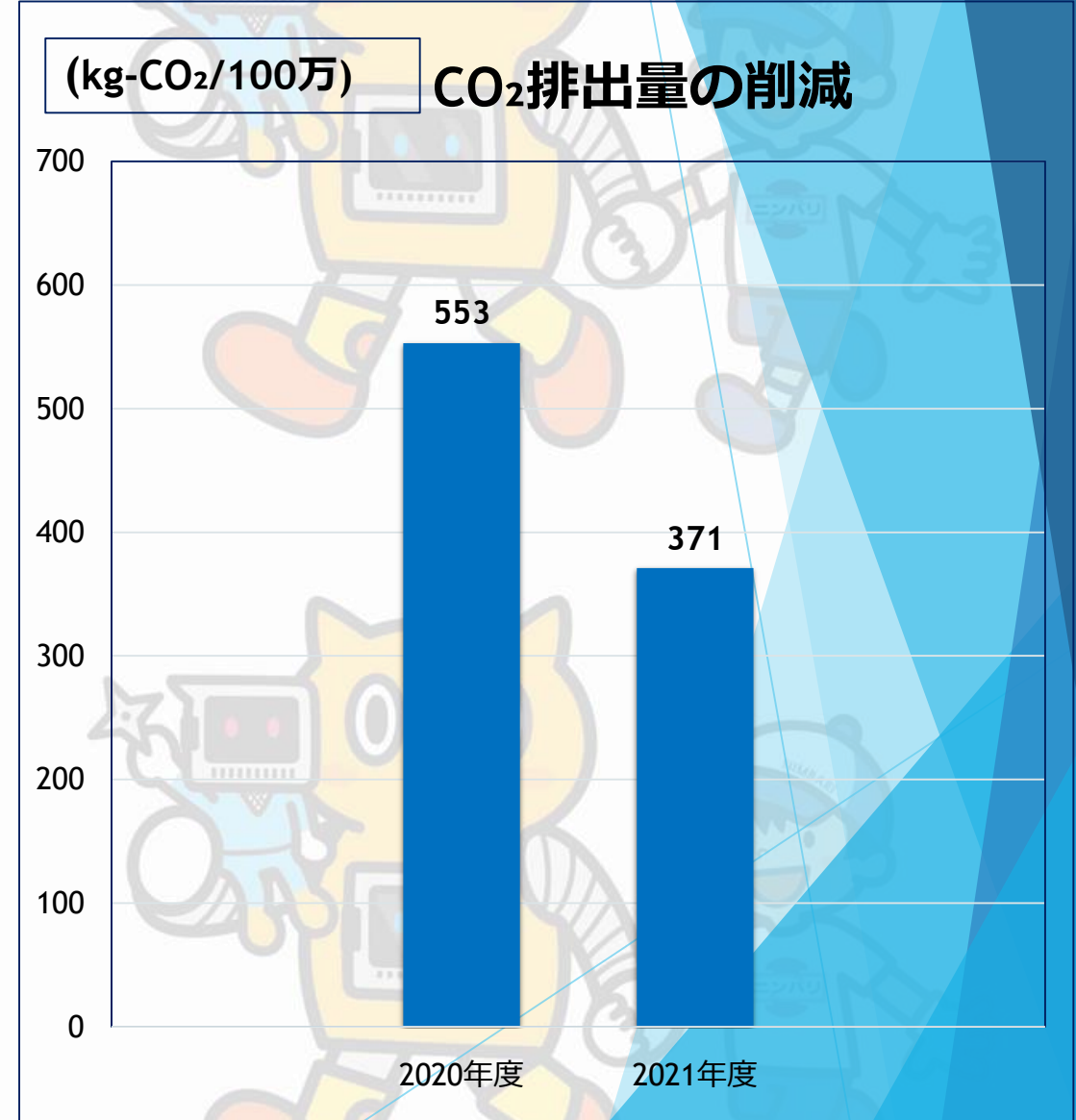
6-2 結果と評価

E1. 【CO₂排出量の削減】

CO₂排出量総量、昨年比は右の通りです
原単位目標値 “535” に対して “371” と
目標値を大幅にクリアすることができました

本社生産設備の入替と、東大阪第二工場での
生産中止を決断したことが、消費電力減少の
大きな要因です

来年度は、工場内のLED化を検討し、
電気使用量削減に繋がたいと思います



6. 2021年度達成状況

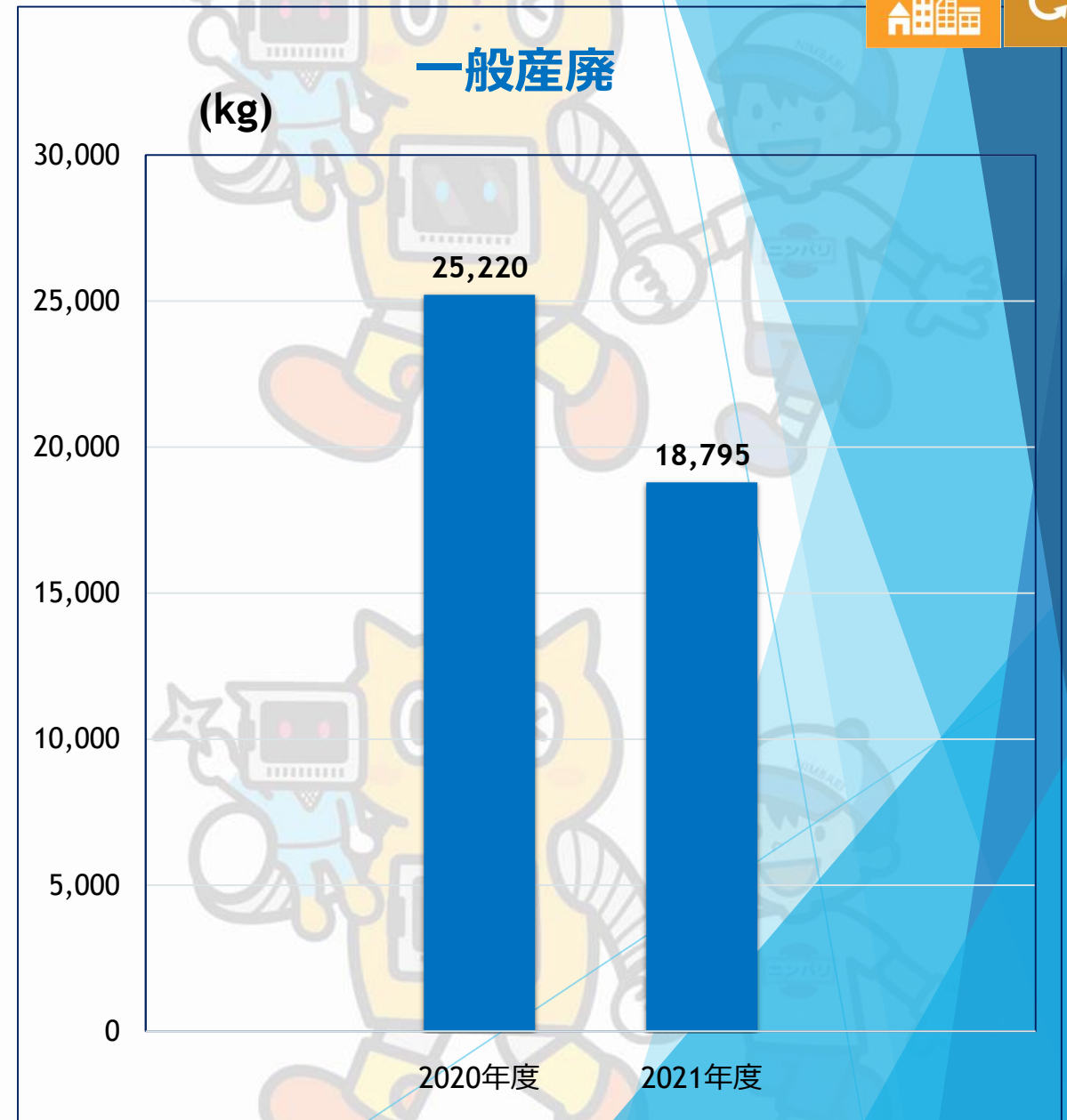
6-2 結果と評価（続き）

E2-1. 【産業廃棄物削減】

産業廃棄物総量、昨年比は右の通りです

廃プラスチック・ビニル系ゴミが、一般事業ゴミから産業廃棄物に移行されてきていますが、社員の意識改革で分別が進みつつあると感じています

来年度は、SDGsマークの表示を増やし分別意識を定着させることで、ビニル系廃棄物削減に取り組めます



6. 2021年度達成状況

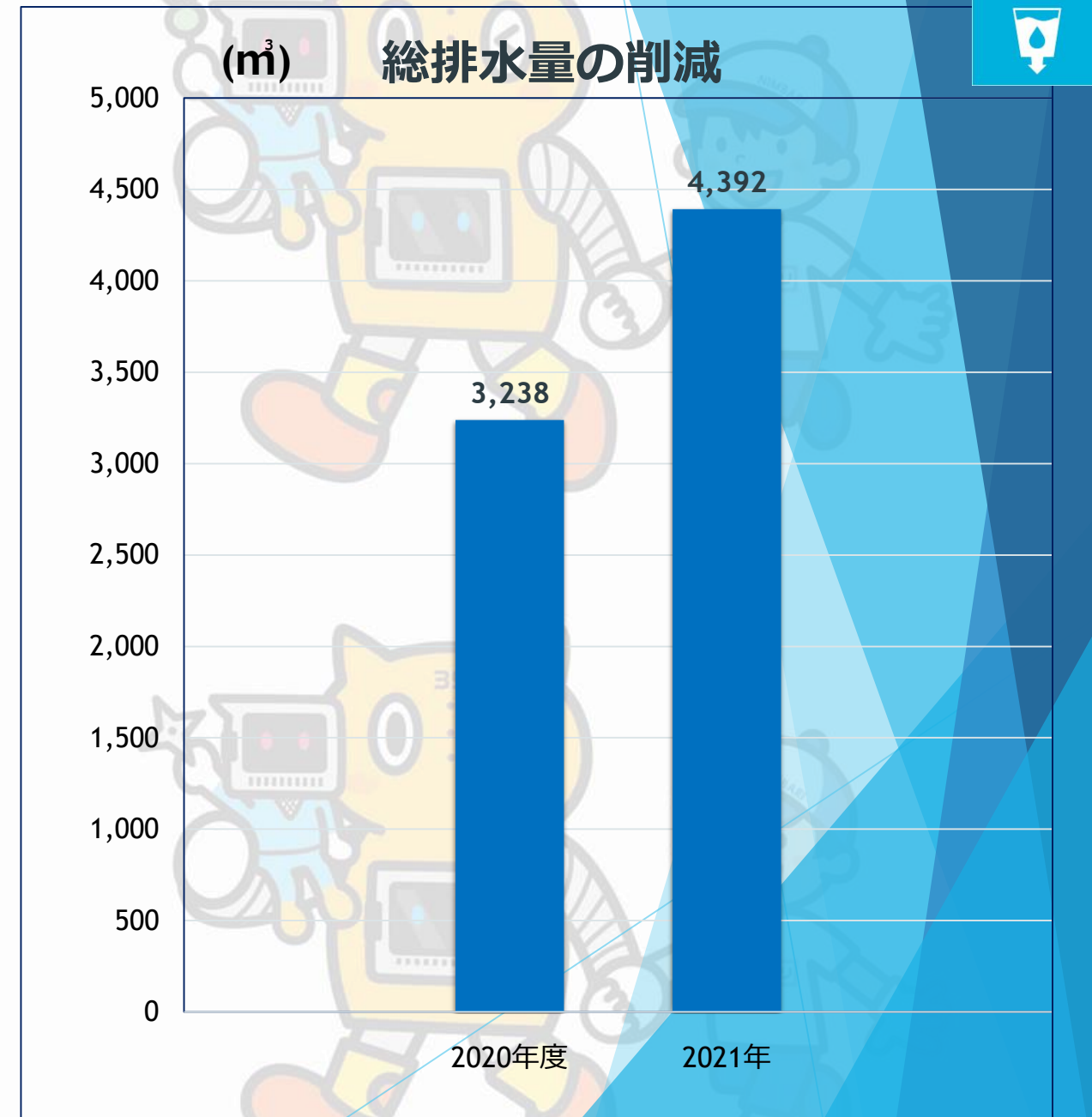
6-2 結果と評価（続き）

E3. 総排水量（水使用量）の削減

水使用量の昨年比は右の通りです

本社の使用量及び、仕上第二棟の本格稼働により使用量が増加しました。原単位でも目標 1.86m^3 に対し 2.5m^3 と大幅に増加してしまいましたが、仕上第二棟の平均使用量は把握できました。

次年度も毎月の使用量推移を監視し、ムダやロスの削減に取り組めます。



6. 2021年度達成状況

6-2 結果と評価（続き）

E4-3. 塗装不良率の削減

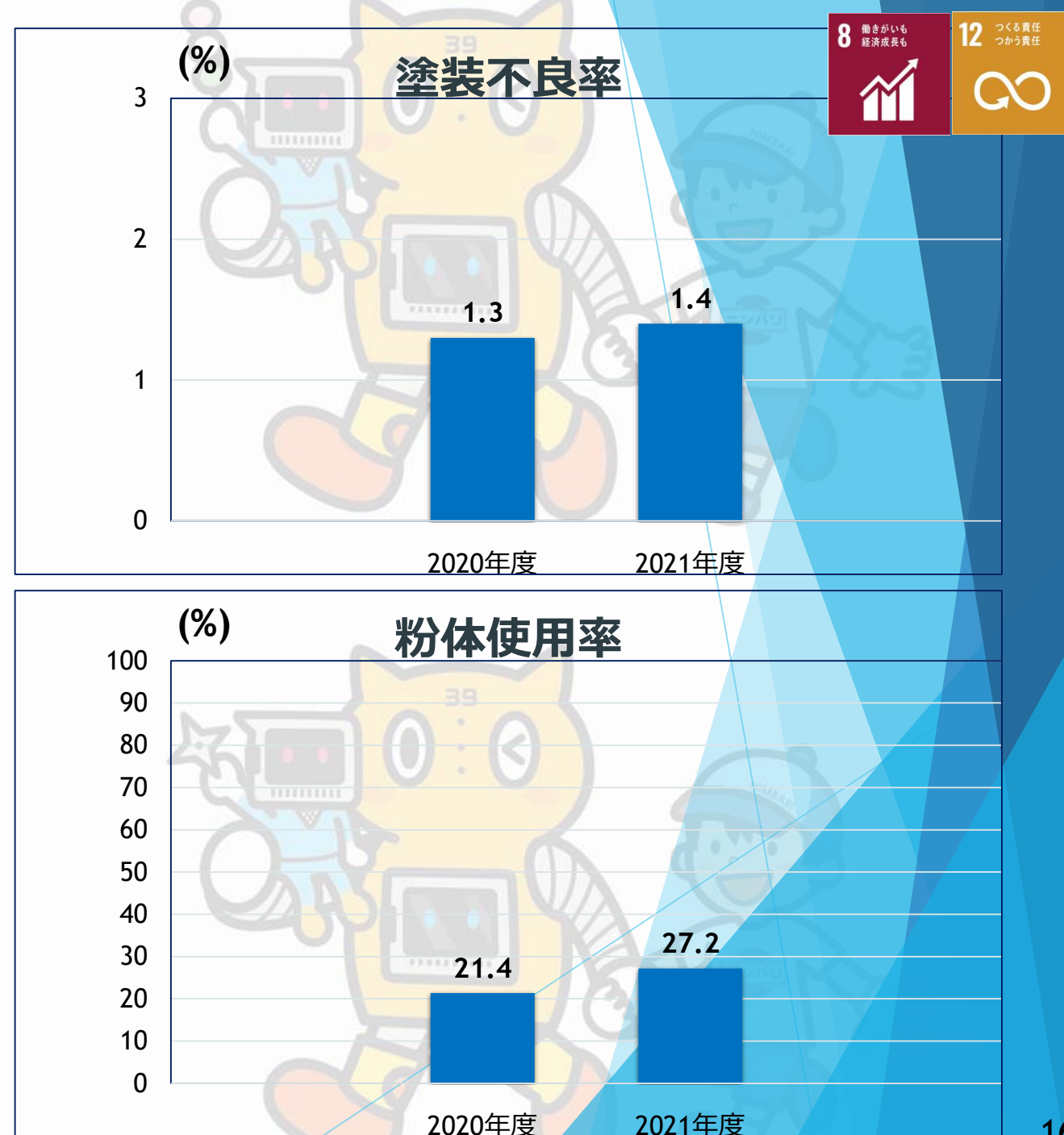
塗装不良率の昨年比は右の通りです

次年度は社員のマルチスキル化、社員同士のコミュニケーションUPで削減に取り組めます

E4-4. 粉体塗料（塗装）比率の変化

社内塗装Gの粉体塗料比率について、昨年比は右の通りです

今後も、粉体塗装への移行提案商品の検討を続けます。



6. 2020年度達成状況

6-3 総量実績推移

	2020年 ベンチマーク	2021年
売上高(百万円)	1,708.8	1,786.4
電気(kWh)	1,616,658	1,346,539
LPG(m ³)	22,912	23,362
都市ガス(m ³)	10,333	12,316
灯油(ℓ)	1,939	1,162
ガソリン(ℓ)	4,130	3,495
軽油(ℓ)	9,496	9,195
総量 CO ₂ 換算 (kg-CO ₂)	944,436	662,567
原単位 CO ₂ 換算 (kg-CO ₂ /100万)	552.6	370.8
産業廃棄物排出量(kg)	25,220	18,795
水使用量(m ³)	3,238	4,392
塗装不良率 (%)	1.3	1.4
粉体塗料使用率	21.4	27.2

7. マテリアルバランス

インプット

エネルギー	
・ 電力	1,346,539 kWh
・ LPG	23,362 m ³
・ 都市ガス	12,316 m ³
・ 灯油	1,162 l
・ ガソリン	3,495 l
・ 軽油	9,195 l
金属材料	
・ 鉄板	2,180,000 kg
・ ステンレス板	121,000 kg
・ アルミ板	1,645 kg
化学物質	
・ 溶剤塗料	20,061 kg
・ 粉体塗料	8,490 kg
・ シンナー	13,840 l
水	
・ 上水道	4,392 m ³

事業活動

営業
設計・開発
工程計画
資材調達
製造
物流
出荷

アウトプット

二酸化炭素排出量	1,049,732 kg-CO ₂
リサイクル	
・ スクラップ(鉄)	515,180 kg
・ スクラップ(ステン)	31,606 kg
・ スクラップ(アルミ)	1,634 kg
・ 引火性廃油・汚泥	18,200 kg
廃棄物排出	
産業廃棄物は、廃プラ・混合等の合計	
・ 産業廃棄物	6,335 kg
・ 木くず	12,460 kg
・ 一般事業ゴミ	
水	
・ 排水	4,392 m ³

8. 環境関連法規等の法令遵守の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

8-1 法令遵守状況

適応法令(条例)	該当する項目	遵守状況
廃棄物処理法	保管・委託の適正管理 特別産業廃棄物管理責任者設置 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	適合
大阪府流入車規制条例	トラック	適合
フロン排出抑制法	廃棄時の適正処理 簡易点検 定期点検	適合
下水道法	水質測定	適合
悪臭防止法	トルエン及びキシレンの使用	適合
騒音規制法 振動規制法	ターレットパンチプレス、プレスブレーキ、レーザー 複合機、シャーリングマシン、エアーコンプレッサー、 窒素発生装置、クーリングタワー	適合
PRTR法	塗料溶剤	適合

※2021年11月内部監査にて遵守状況確認済

8. 環境関連法規等の法令遵守の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無

8-2 違法・訴訟の有無

違法・訴訟はありませんでした

8-3 近隣からの苦情の有無

恩智川を挟んだ向かいの住民の方より、
「コンプレッサー音が気になる」とのお声を頂き、
すぐに角度変更等を実施して対応。
対策実施後の音を聞いて頂き、問題ない事を確認。
※対応の早さに、逆に感謝のお言葉を頂きました。

9. 2021年度の取組み

9-1 非常事態処理訓練(2021年12月8日)

塗装ブースの循環水流出を想定して、
緊急事態処理手順書に基づき応急処置
訓練を実施しました



手順書通り実施し、流出防止処置の
確認が出来ました。
※なお、今回の訓練による手順書見直しや
変更の必要ありませんでした。

10. その他の取組み

10-1 地域の清掃活動(2021年6月8日)



環境月間の活動として、
毎年恩智川沿いの道の清掃活動
を行っています



11. マネジメントレビュー

11-1 経営者による全体評価

2021年度は、“一貫生産体制”を特長とする当社のものづくりの流れが確立されてきた1年でした。売上は前年比約5%の上昇の中、総労働時間の削減、エネルギー使用量の減少等の効果を出すことができました。また、前年の仕上第2棟建設、新設備であるEMLの本格稼働に代表されるものづくりの合理化が運用軌道に乗り、委託加工先（外注先）とのリレーション運用レベルを向上させることができたおかげで、シンプルで安全な作業環境を構築することができてきた、と評価できます。品質状況も改善の方向に進んでおり、「品質と環境が結びついたEC0なものづくり」の礎が築けてきている、と感じています。

2022年1月に、賃借していた東大阪第二工場も返却したことで、より効率的な運用ができるようになりそうです。

2021年12月エコアクション21更新審査の結果は適合評価でした。総合コメントでは廃棄物の分別手順のわかりやすさ、設備稼働の平準化による契約電力の低下、効率生産と働き方改革による利益確保体質について評価されました。また、カーボンニュートラルへの取組みについてアドバイスをいただきました。

（参考） QMS/EMS定期マネジメントレビュー(2021. 11. 15)、エコアクション21更新審査(2021. 12. 2-3)、2021年度決算報告書

11. マネジメントレビュー

11-2 次年度に向けて(アクション)

- ・ 環境経営方針、実施体制について変更はしません。
目標設定は、総量と原単位の2本立て（前年度基準）とします。
- ・ 得意分野のしごと、高付加価値のしごとを丁寧に創り上げ、安定していけば、環境・品質・安全・従業員満足等、すべてに好影響をもたらすと考えます。また、そのような運用が軌道に乗ることで経営数字もついてくる、と考えます。
各部署が自立した考えのもと、最適なものづくりを常に目指していくことでEC0な体系は、そのレベルを上げていくことができる、と考えます。

以 上

あとがき

2021年度環境経営レポートを最後までお読みいただきありがとうございます。

新社長体制での1年が、あっという間に終了しました。

「“今までこうやっていたから”はやめよう」という、社長の発信により、様々なものについて、本当に必要かを見極める訓練を積んだ1年であったと感じています。

そこから、ムダの排除、業務のシンプル化、更にはチームワークの向上へと繋がっていき、残業時間の削減等でCO2排出削減にも貢献しています。

来年度も、よりシンプルでムダのない取り組みを進めていきます。

環境事務局 坂本知加恵
井上 慎一(環境管理責任者)
初版発行 2022.3.31